

5月21日春のまるごと市を行います

●手作り品・野菜・花
●和菓子 炊き込みご飯等



2010年4月2日フリーマーケット
まるごと館のこと

2009年当時「人が集える場」コミュニティがこれから必要になるのと思いから、まるごと館をオープンさせて早いものでもう14年になります。民間の力で公的部門の活動を担うというものです。とは言っても、初めは誰も来ない館の中で私は一体何をしているのだろうと思いながら日々過ごしていました。多くの方に館のことを知って貰うにはどうしたらいいのか。

① まるごと市

その突破口を開いたのが2009年10月の1回目のまるごと市でした。フリーマーケットの出店を募りました。慣れない軽ト

ラで重たい TENT を運び、市議会議員だった夫(2012年12月死去)の支持者の方々にもご協力いただいて開催できました。多くの人も来られました。

まるごと市をやったの一番大きな収穫はまるごと館で人が集って学び合えるという実感でした。共に目標に向かって動いた経験が土台に。当時のことを2010年6月のまるごと館たより9号に書いています。まるごと市で得たものはそれだけではなかった。コンサート、餅つき等活動をする度に必要な道具等をいつも借りてきていましたが、徐々に買い足すことが出来るようになりました。

② 野菜販売

館の横に野菜棚を作り、毎朝生産者の方々が朝採れ野菜を運んで下さいます。10人おられます。今は筍が終わり、これからエンドウ豆等が並ぶようです。館の

運営費用として支えていただいています。特筆すべきは現在まるごと館に参加されている方々の多くは館への入り口はこの野菜棚だと

『今につながる方丈記』6
はわづかに方丈、』
最後に8年間住んだ日野の方丈庵。山からの水をため、薪には困らない。着るもの、食べるもの野にあるもので生活は質素だった▼800年前ですから、今のようには照明、冷蔵庫等ありません。私は思い出します。小学生時井戸からバケツに水を汲み、離れた風呂場へ運び、苦勞しながら薪に火を。今ではボタンを押せばお湯がでて入ったことのお知らせまであります。確かに寒さに震えて夜になれば寝るしかなかった時には電気はありがたいものです▼2011年の福島第一原発の事故。日本では毎日地震があり、原発はどんな時でも管理、監視が必要で何かあればとんでもないことに。その地域の人(時にはもつと広範囲に)、土地、植物すべて長期間影響があります。処理のための莫大な費用も、他の原発の維持費用も電気代から▼今年に入つて、原発の60年を超える運転延長を認める。脱炭素電源法案が衆院で通りました。化石燃料が総発電量の70%を占めていて、脱炭素をめざす中で安易に原発を追求していきませんが▼12年前の事故で3万人の方々が避難されている現実には頼りません。国が決めたといつても事故になれば責任者は何処にもいない。そんな現実を何度も見て、今は当たり前の電気のことを考えてゆく責任が誰にもあるのではないかと。示唆に富んだ方丈記から思うのです。

2021年12月野菜棚



ということです。館に興味をいだかれて。

③ 関わって下さる方々の存在

今ではお茶を飲み、お話をされに來られたり、講習会に参加されたりして下さる方々がたくさんいらっしゃいます。講習会の講師を引き受けて下さった方はこの14年の中で数えきれない程です。まるごと館のホームページも毎回アップして下さっています。

こうして、まるごと館のことを知っていただける機会を沢山作っていただいています。長く続けて來られたのは関わって下さっている方々の存在が大

きいです。開館当初からの方は少なくなりましたが、今も。ご近所の方々にも随分お世話になっています。これからもよろしくお願い致します。

④ まるごと館たよりを作る

2009年11月から慣れないパソコンで館の取り組み等を書き始めました。今でも文章と格闘していますが。

それを生涯学習センターや男山公民館に少数ですが、置いていただいています。時にはまるごと市の案内を新聞に載せてもらった時もありました。コロナ禍の3年間は館の取り組みが出来なくて苦しかったですが、方丈記を読み書きして、「今につながる方丈記」として今は続けています。

自分たちで出来ることを自分たちで

まるごと館という場がそのまま心の安らぎが持てる場であつたらと思っています。今回の3年にも及ぶ

八幡まるごと館だより

2023年5月9日/161号

<発行>八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

コロナ禍の経験から特にそう思います。

そして、参加者の方々がお互いに認め合えて、公では行き届かない部分を誰憚ることなく取り組めるよう知恵を出し合って歩めていけたら嬉しいです。

絵手紙講習会

＜4月にこんなことをしました＞



12日 タケノコの季節には端境期でまるごと館の棚には葉物がないために森本玲子さんはイチゴやホタテ等を、参加者の方も沢山の花を持って来られます。そこから描く対象物を選び、うまくいかないとため息ついたり、他の方の話を聞いて笑ったりと描くことだけでは面白さが味わえます。そんな雰囲気の中絵を描いています。

くことだけでは面白さが味わえます。そんな雰囲気の中絵を描いています。



オケけあい



17日 もう町内でのコンサートまで練習出来るのは3回しかありません。本番に強い私たちですが、練習に練習を重ね、来られる方々に楽しんでいただけるように取り組んでいます。コンサートは度胸、技術的にもステップアップできるチャンスです。



映画上映会



21日 「縦ノ木は残った」の予定でしたが、スクリーンに映らなくて「蟬しぐれ」を上映しました。共感できることが多々あって、見た後にある余韻が残るいい映画でした。こういう感覚を大切

まるごと市(5月21日)にどうぞ

昨年秋には3年振りにまるごと市を実施しました。あまりお知らせも出来ていませんでした。今回はどうぞ楽しんで参加してくださいませよう、お待ちしております。

にしたいと見終ってから思えました。参加者の方々のご要望で上映しています。次回は洋画「慕情」です。どうぞお越しください。

八幡の歴史



26日 近世の八幡で内里村の5人組制度の古文書が残っていて、出口修さんは読まれました。この5人組はもともとキリシタンの取り締まりが目的だったようです。遠藤周作の「沈黙」で書かれている厳しい弾圧にも触れられました。禁教令は1873年に終止符が。キリシ

タンにとどまらず、この制度はあらゆる分野に連帯責任を負わせて管理してゆくようになっていて、ぞっとしました。農工商の3階級のみだけが対象だった。1軒でも税を納めなければ他の4軒に負担が。達筆の文書が残っていて誰でも読める状態だったそうで驚きです。

八幡まるごと館 5月・6月の予定

休館 5月1日(月)～5月6日(土)

＜パソコン教室＞ 毎週月曜日 10時～12時です

5月8日(月)10時～12時 パソコンを持って来て下さい。費用 300円(コーヒーつき)

＜オカリナクラブ ひまわり＞ 楽しめる時に

5月8日(月)13時～ 参加費100円 全員参加ではありません 練習日は月曜日だけに

＜絵手紙講習会＞

5月10日(水)午後1時30分～ 講師 森本玲子さん 参加費 400円(コーヒーつき) 次回は6月14日(水)です

＜歴史を学ぶ 新八幡の歴史 N046＞ わかり次第連絡いたします

5月18日(木)13時30分～ 講師出口修さん 参加費100円 月1回です

＜春のまるごと市＞ 野菜等、他にも色々あります。楽しめる時間が共有できる一日を。5月21日(日)9時～12時 まるごと館と駐車場を使って行きます。フリーマーケット8店を募集します。あと僅かです。ご希望の方はまるごと館までご連絡下さい。

＜楽しい理科の実験 N049＞慣性の法則です

5月26日(金)13時30分～ 講師 木下章司さん 参加費300円(コーヒーつき)

＜映画上映会「慕情」＞ 102分

6月2日(金)13時30分～ 製作アメリカ 参加費100円

＜パッチワーク講習会＞

6月15日(木)6月29日(木)13時30分～ 講師 西角千代子さん 持ち物 裁縫道具、ハサミ、鉛筆、さし 参加費 円(コーヒーつき)

＜あんなこと・こんなこと＞

* 連休中は如何お過ごしでしたか。コロナ禍から解放されたせいか、どこも人がいっぱいということでした。休み明けの7日朝野菜生産者の方々の野菜談義には聞いていて嬉しくなりました。こんな日常がいとおいしいと。最後には何でもカード、デジタルの生活に話が行き着きました。

* 能登半島の地震が起こり、被災された方々に、更に非情の大雨が。能登半島に

は志賀原発があります。断層もあるそうですが。本当に日本全国大丈夫かなと思います。

* 絵手紙の講師の森本玲子さんの個展が6月1日(木)から4日(日)松花堂美術館で。

* まるごと市が近づいてきました。いつもお手伝いして下さって成り立っています。沢山来ていただけるようにチラシも印刷しています。ご近所に配って下さったら嬉しいです。(うえたにじゅんこ)